

福井県の治安情勢 [10月末現在]

(令和2年10月末数値は暫定のものを含む)



令和2年10月30日 山口茜選手に「安全・安心サポーター」を委嘱



— 福井県警察 —

1 刑法犯

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

認知件数は2,281件で、前年同期に比べて345件(13.1%)減少

検挙件数は1,459件で、前年同期に比べて130件(8.2%)減少

検挙率は64.0%で、前年同期に比べて3.5ポイント上昇

		H29	H30	R1	R2.10末
福井	認知件数(件)	3,231	3,197	3,132	2,281(-345)
	検挙件数(件)	1,764	1,786	2,023	1,459(-130)
	検挙人員(人)	1,150	1,117	1,291	1,005(-26)
	検挙率(%)	54.6	55.9	64.6	64.0(+3.5p)
全国	認知件数(件)	915,042	817,338	748,559	514,427(-112,315)
	検挙件数(件)	327,081	309,409	294,206	228,524(-9,806)
	検挙人員(人)	215,003	206,094	192,607	148,748(-7,592)
	検挙率(%)	35.7	37.9	39.3	44.4(+6.4p)

※1 表の()内は、前年同期比を示す

※2 検挙率とは、当該年の認知件数に対する検挙件数(当該年以前の認知事件の検挙を含む。)の割合

(2) 重要犯罪の認知・検挙件数

認知件数は29件で、前年同期に比べて6件(26.1%)増加

検挙件数は26件で、前年同期に比べて5件(23.8%)増加

【認知件数】

(単位:件)

	H29	H30	R1	R2.10末
殺人	6	7	9	1(-5)
強盗	8	7	1	3(+2)
放火	6	4	3	1(-2)
強制性交等	2	7	2	7(+5)
略取・誘拐	2	2	0	1(+1)
強制わいせつ	8	12	11	16(+5)
合計	32	39	26	29(+6)

【検挙件数】

(単位:件)

	H29	H30	R1	R2.10末
殺人	6	7	8	0(-4)
強盗	8	7	1	3(+2)
放火	6	4	3	1(-2)
強制性交等	2	7	2	6(+4)
略取・誘拐	2	2	0	1(+1)
強制わいせつ	8	12	11	15(+4)
合計	32	39	25	26(+5)

(3) 防止重点8罪種の認知件数

認知件数は1,308件で、前年同期に比べて228件(14.8%)減少

(単位:件)

	H29	H30	R1	R2.10末
車上ねらい	202	277	147	177(+54)
自転車盗	484	487	477	262(-144)
万引き	509	516	516	413(-32)
置引き	201	205	217	111(-74)
器物損壊	324	335	261	200(-13)
空き巣	78	63	79	44(-17)
忍込み	46	38	58	38(-11)
住居侵入	49	45	62	63(+9)
合計	1,893	1,966	1,817	1,308(-228)

2 子供を犯罪から守る対策

(1) 子供に対する声かけ事案等

相談等件数は191件で、前年同期に比べて33件(14.7%)減少

(単位:件)

	H29	H30	R1	R2.10末
小学生以下	82	95	114	80(-23)
中学生	52	47	49	48(+5)
高校生	79	89	81	56(-18)
その他	10	4	4	7(+3)
合計	223	235	248	191(-33)

※ 声かけ事案等とは、性犯罪等の前兆とみられる声かけ、つきまとい等をいう。

(2) 子供への声かけ事案等への対応

検挙、指導・警告件数は84件で、前年同期に比べて18件(17.6%)減少

(単位:件)

	H29	H30	R1	R2.10末
検挙	26	24	40	23(-15)
指導・警告	64	68	72	61(-3)
合計	90	92	112	84(-18)

(3) 主な施策

- ア 少年警察ボランティアと連携し、幼稚園や保育所等において、危険な事案に遭遇した場合の回避能力を身に付けさせるためのリュウピー防犯教室を開催
- イ 子ども重点見守りデー（10/26）に、知事、警察本部長、県教育長等が参加し、県下における地域ぐるみでの子供見守り活動を促進
- ウ 声かけ事案等の行為者を早期に特定し、検挙、指導・警告の先制・予防的活動を推進
- エ リュウピーネットや安全・安心マップによるタイムリーな不審者情報の発信



幼児を対象とした
リュウピー防犯教室



子ども重点見守りデー
における見守り活動

3 非行少年を生まない社会づくり

(1) 非行少年の推移

検挙・補導した非行少年は115人で、前年同期に比べて16人（16.2%）増加

（単位：人）

	H29	H30	R1	R2.10末
犯罪少年	95	87	103	83(+5)
触法少年	38	22	23	30(+11)
ぐ犯少年	0	0	4	2(±0)
非行少年総数	133	109	130	115(+16)

(2) 主な施策

- ア SNSによる誹謗中傷やいじめ、SNSの利用に起因する性被害の防止等、情報モラルに関する非行防止教室をオンラインで実施
- イ 繁華街等における少年の補導や店舗への立入り等を通じて、少年を有害な風俗環境から守る少年指導委員50人を対象に、活動要領等に関する研修会を実施（10/28、10/30）



情報モラルに関する非行防止教室



少年指導委員研修会

4 女性を犯罪から守る対策

(1) 女性が被害者となる犯罪の認知・検挙件数

認知件数は203件で、前年同期に比べて1件(0.5%)減少

検挙件数は197件で、前年同期に比べて6件(3.1%)増加

(単位：件)

	H29		H30		R1		R2.10末	
	認知	検挙	認知	検挙	認知	検挙	認知	検挙
強制性交等	2	2	7	7	2	2	6(+4)	6(+4)
強制わいせつ	8	8	12	12	11	11	15(+4)	14(+3)
略取誘拐・人身売買	2	2	2	2	0	0	1(+1)	1(+1)
暴行	106	102	103	97	161	155	133(+1)	132(+8)
傷害	43	43	36	35	64	65	48(-11)	44(-10)
合計	161	157	160	153	238	233	203(-1)	197(+6)

(2) ストーカー事案の相談等・検挙状況

相談等件数は123件で、前年同期に比べて23件(23.0%)増加

検挙件数は30件で、前年同期に比べて10件(50.0%)増加

(単位：件)

	H29	H30	R1	R2.10末
相談等	74	74	121	123(+23)
検挙	29	8	23	30(+10)
禁止命令・警告	40	27	49	49(+4)

(3) DV事案の相談等・検挙状況

相談等件数は228件で、前年同期に比べて34件(17.5%)増加

検挙件数は123件で、前年同期に比べて5件(4.2%)増加

(単位：件)

	H29	H30	R1	R2.10末
相談等	174	187	237	228(+34)
検挙	88	99	144	123(+5)
保護命令	10	9	7	13(+7)
警告	70	70	70	82(+29)

(4) 主な施策

ア ストーカー・DV事案に対する被害者の迅速な安全確保と行為者に対する指導・警告、検挙措置の徹底

イ ストーカー行為者に対応する警察官が、精神科医やカウンセラーから、ストーカー行為の再発防止のための対応方法について専門的な助言等を受け、行為者の更生を支援

※ R2.10末：21事案について21回実施

5 高齢者を犯罪から守る対策（特殊詐欺対策）

(1) 特殊詐欺の認知件数及び被害額（※ 被害額の1万円未満は四捨五入）

- ・ 特殊詐欺の認知件数は19件で、前年同期に比べて4件（17.4%）減少
- ・ 被害金額は約5,576万円で、前年同期に比べて約5,314万円（48.8%）減少

【被害の特徴】

- ① 手口別では、預貯金詐欺と架空料金請求詐欺の割合が多い（各7件、36.8%）
- ② 65歳以上の割合は約7割（14件、73.7%）
- ③ 交付形態別では、「キャッシュカード手交型」7件、「キャッシュカード窃取型」3件、「電子マネー型」3件、「送付型」4件、「振込型」2件

	H29		H30		R1		R2.10末	
	認知 (件)	被害額 (万円)	認知 (件)	被害額 (万円)	認知 (件)	被害額 (万円)	認知 (件)	被害額 (万円)
オレオレ	26	9,765	6	661	3	53	0(-2)	0(-53)
預貯金	—	—	—	—	—	—	7(+7)	820(+820)
架空料金請求	39	10,302	22	10,373	12	9,233	7(-4)	3,310(-5,395)
融資保証金	2	188	2	215	3	600	1(-2)	35(-565)
還付金	5	535	0	0	2	96	0(-2)	0(-96)
金融商品	0	0	0	0	0	0	0(±0)	0(±0)
ギャンブル	1	534	0	0	0	0	0(±0)	0(±0)
交際あっせん	0	0	1	51	0	0	1(+1)	1,056(+1,056)
その他	3	2,600	0	0	0	0	0(±0)	0(±0)
キャッシュカード詐欺盗	—	—	1	429	6	1,486	3(-2)	354(-1,081)
合計	76	23,924	32	11,729	26	11,468	19(-4)	5,576(-5,314)

※ 預貯金詐欺とは、親族や警察官、銀行協会職員等を装い、口座が犯罪に利用されているなどと騙って、交換手続き名目でキャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取るもの。従来、オレオレ詐欺として計上していたもののうち、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取るものについては、令和2年1月から預貯金詐欺の分類で計上。

※ キャッシュカード詐欺盗とは、オレオレ詐欺等の手口で被害者に接触し、被害者の隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗をいう。平成30年から計上。

(2) 検挙状況（助長犯罪*を含む）（H30以降キャッシュカード詐欺盗を含む）

検挙人員は24人で、前年同期に比べて9人（27.3%）減少

	H29	H30	R1	R2.10末
検挙件数（件）	49	39	50	30（-8）
検挙人員（人）	51	36	39	24（-9）

※ 助長犯罪とは、売却目的で携帯電話や預貯金口座を不正に取得するなど、特殊詐欺を助長する犯罪をいう。

(3) 主な施策

特殊詐欺緊急対策プロジェクトチーム（H29.11発足）による被害防止と検挙を両輪とした対策を推進

ア 被害防止対策

- 予兆電話認知時等におけるリュウピーネットやツイッター、Yahoo!防災速報による県民へのタイムリーな情報発信
- オートコールシステムによる金融機関、タクシー事業者に対する速やかな情報配信
- えちぜん鉄道と協定を締結し、アテンダントのアナウンス広報、高齢者への直接の声掛け、駅や電車内でのチラシ、ポスター掲示等による広報啓発活動
- 制服警察官による高齢者宅への巡回連絡や、留守番電話対策による直接指導
- 山口茜選手を「安全・安心サポーター」に委嘱しての広報啓発活動



えちぜん鉄道との協定締結



留守番電話対策



安全・安心サポーターの委嘱

イ 取締り

- 県内に流入する受取役被疑者の徹底検挙
- 他の都道府県警察との連携による犯行グループの壊滅に向けた取締り
 - ・ フィリピンを拠点とする特殊詐欺の犯行グループの逮捕（R2.1～）
- 携帯電話や預貯金口座の不正取得など、特殊詐欺を助長する犯罪の取締りと犯行ツールの無力化対策の推進

6 暴力団等組織犯罪対策

(1) 暴力団対策

ア 検挙状況

検挙人員は56人、前年同期に比べて41人(42.3%)減少 (単位:人)

	H29	H30	R1	R2.10末
刑法犯	34	76	63	38(-19)
特別法犯	42	36	45	18(-22)
合計	76	112	108	56(-41)

イ 山口組分裂に伴う諸対策

- 「六代目山口組・神戸山口組対立抗争集中取締本部」を継続し、暴力団犯罪の取締りと暴力団関係箇所の警戒活動を徹底 (H29.4～)

ウ 取締り

- 六代目山口組系幹部による新型コロナウイルス対策として福井県が支給する「小規模事業者等再起応援金」詐欺未遂事件(R2.10)

エ 暴力団排除活動の取組

- 県内の事業活動等における暴力団等からの不当な要求行為等を防止するための支援の実施など、暴力団等の資金源を封圧するための諸対策を推進
- 県暴力追放センターをはじめとする関係機関との連携を一層強化し、より効果的な暴力団排除活動を戦略的に推進

(2) 薬物犯罪対策

検挙人員は54人で、前年同期に比べて1人(1.8%)減少 (単位:人)

	H29	H30	R1	R2.10末
覚醒剤	47	37	46	34(-5)
大麻	16	13	17	19(+4)
その他	1	0	1	1(±0)
合計	64	50	64	54(-1)

7 交通事故から県民を守る対策

(1) 交通事故の発生状況

交通事故死者数は31人で、前年同期に比べて7人(29.2%)増加

死者のうち10人は歩行中の事故であり、前年同期に比べて7人(233.3%)増加

	H29	H30	R1	R2.10末
総事故件数(件)	25,060	25,540	21,990	14,933(-3,151)
人身事故件数(件)	1,549	1,398	1,168	726(-233)
死者数(人)	46	41	31	31(+7)
傷者数(人)	1,761	1,589	1,333	788(-306)
物損事故件数(件)	23,511	24,142	20,822	14,207(-2,918)

※ 全国の交通事故死者数 (R2.10末) は2,261人で、前年同期に比べて270人減少

(2) 交通事故から高齢者を守る対策

ア 高齢者(65歳以上)が犠牲となる交通死亡事故

高齢者の死者数は24人で、全死者数の約8割(77.4%)

	H29	H30	R1	R2.10末
全死者数(人)	46	41	31	31(+7)
高齢死者数(人)	25	28	18	24(+11)
構成率(%)	54.3	68.3	58.1	77.4(+23.2p)

イ 高齢交通弱者が犠牲となる交通死亡事故

高齢交通弱者(歩行者・自転車乗用中)の死者数は14人で、前年同期に比べて7人(100.0%)増加

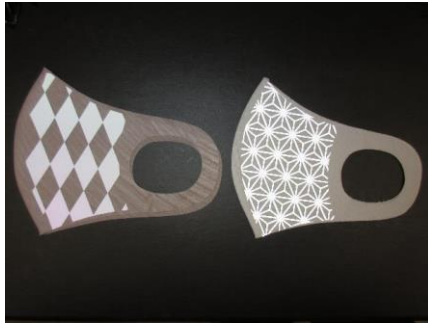
歩行中の死者は9人で、高齢交通弱者の死者数の約6割(64.3%)

夜間歩行中の事故死者数は5人であり、いずれも反射材非着用 (単位:人)

	H29	H30	R1	R2.10末
高齢交通弱者の死者数	17	15	12	14(+7)
歩行中	14	10	8	9(+6)
自転車乗用中	3	5	4	5(+1)

ウ 主な施策

- 高齢者宅の戸別訪問による反射材付きウレタンマスクの配付
- 高齢交通弱者に対する反射材タスキの貸与等の保護誘導活動
- 高齢交通弱者に対する参加・体験・実践型の交通安全教室



反射材付きウレタンマスク



反射材着用効果の広報活動

(3) 高齢運転者対策

ア 高齢運転者が第1当事者となる交通死亡事故

全ての交通死亡事故のうち、高齢運転者が第1当事者となる死亡事故は12件で、前年同期に比べて4件（50.0%）増加

（単位：件）

	H29	H30	R1	R2. 10 末
交通死亡事故件数	46	39	31	28(+4)
高齢運転者が第1当	12	15	8	12(+4)

イ 主な施策

- 運転技能診断評価システムの体験講習会の開催
- ドライブレコーダーを活用した個別の交通安全指導
- 自動車教習所での任意の実車講習(シルバー・セーフティドライビング講習)の実施
- 自治体と連携した自主返納出張窓口の開設
- 過去に複数回事故歴を有する高齢者に対する訪問指導



運転技能診断評価システムの
体験講習会の開催



自主返納出張窓口の開設

(4) 悪質・危険運転者対策

ア 飲酒運転対策

(7) 飲酒運転による人身事故（運転免許を必要とする車両によるもの）

飲酒運転による人身事故は9件で、前年同期に比べて8件（47.1%）減少
死亡事故件数は2件で、前年同期と同数

	H29	H30	R1	R2. 10 末
人身事故件数（件）	26	20	23	9（ -8）
死亡事故件数（件）	7	3	2	2（ ±0）
構成率（%）	26.9	15.0	8.7	22.2(+10.4p)

(4) 飲酒運転の取締り

飲酒運転の検挙件数は103件で、前年同期に比べて50件（32.7%）減少

	H29	H30	R1	R2. 10 末
検挙件数（件）	201	229	223	103（ -50）

(7) 主な施策（飲酒運転根絶気運の醸成）

- 飲酒運転根絶ポスターの作成（山口茜選手の起用）
- 小学児童等を「リュウピー・リュウミー交通保安官」に任命し、家庭や地域から飲酒運転根絶気運を醸成
- 県内居住地区別の飲酒運転取締り状況を表した「飲酒運転マップ」を県警ホームページに掲載し、広報啓発活動や交通安全講習等で活用

イ いわゆる「あおり運転」対策

車間距離保持義務違反の検挙件数は108件で、前年同期に比べて21件（24.1%）増加
進路変更禁止違反の検挙件数は5件で、前年同期に比べて4件（44.4%）減少

（単位：件）

	H29	H30	R1	R2. 10 末
車間距離保持義務違反	3	42	103	108（ +21）
進路変更禁止違反	3	8	10	5（ -4）



飲酒運転根絶ポスター



リュウピー・リュウミー保安官任命式

補足

〈 交通死亡事故の発生状況 〉 ※令和2年11月末現在

○ 件数 33件 (対前年同期比+ 6件)

○ 死者数 36人 (対前年同期比+ 9人)

うち高齢者 27人 (対前年同期比+11人)

○ 年齢層別・当事者別死亡事故件数 (第一当事者) (単位：件)

	自動車等				自転車	歩行者	その他	合計
	自動車	自動二輪車	原付	計				
29歳以下	4	0	0	4	0	0	0	4[±0]
30歳代	4	0	0	4	0	0	0	4[+1]
40歳代	5	0	0	5	0	0	0	5[±0]
50歳代	2	1	0	3	0	0	0	3[-2]
60～64歳	2	0	0	2	0	0	0	2[+1]
65歳以上	12	1	0	13	2	0	0	15[+6]
合計	29	2	0	31	2	0	0	33[+6]

※ []は前年同時期比

○ 年齢層別・状態別死者数 (単位：人)

	自動車乗車中	自動二輪車乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	合計
29歳以下	4	0	0	0	0	4[+2]
30歳代	1	0	0	0	0	1[+1]
40歳代	0	0	0	1	0	1[-4]
50歳代	0	2	0	0	0	2[-1]
60～64歳	1	0	0	0	0	1[±0]
65歳以上	9	1	5	11	1	27[+11]
合計	15	3	5	12	1	36[+9]

※ []は前年同時期比